

浜頓別町アメニティ公園

農村が有する「アメニティ」の側面の重要性が、近年認識され始めています。「アメニティ」とは、人々の心に快適さや心地よさ、楽しさなどを感じさせるもの。農村アメニティとしては、美しい農村景観や豊富な野生動植物、伝統文化など、農村特有の緑豊かな自然や歴史を基盤とし、ゆとり・うるおい・やすらぎに満ちた居住快適性のこと。先に当課HPで紹介した「稚内市沼川みのり公園」は、農村アメニティを体感できる場所と言えるでしょう。その他に、宗谷管内で「アメニティ」を感じられる場所として、ここでは「浜頓別町アメニティ公園」をご紹介します。



①同公園は、「緑のゾーン」、「いこいのゾーン」「コミュニティーゾーン」の3つのゾーンから構成されています。「緑のゾーン」の入り口には、木で作られた素朴な看板が立っています。



②「緑のゾーン」は浜頓別町のHPによると、「花と緑に囲まれたうるおいとやすらぎをテーマにした場所」ということです。映画に出てくるような美しい並木道が、訪れる人をその先へ誘います。



③途中には階段も複数あり、起伏に富んだコース設定となっています。公園は町の中心部に近いのですが、木々が騒音をかき消してくれるため、とても静かでした。この日は鳥達の美しい鳴き声があちこちから響いていました。



④湿地の上に木道が張り巡らされ、公園をぐるっと一周できます。陽光を浴びる場所や、木陰が日差しを遮ってくれる場所もあり、その日の気候に応じ快適な休憩ポイントを選ぶことができます。20分位で一周できるので、気軽に散歩するには最適の場所だと思いました。



⑤「いこいのゾーン」の入り口には、金属で作られた芸術的な看板が立っています。「いこいのゾーン」は、「水の広場」でくつろいだり、遊具で楽しんだりできる場所です。



⑥左手前の小山の頂きから、水が吹き出していきます。



⑦奥の小山から吹き出した水が勢いよく下って行きます。



⑧浜頓別町にある湖「クッチャロ湖」をイメージした池に水が集まります。池には白鳥をイメージした「風のオブジェ」も設置されています。



⑨「水の広場」の中心的存在である「滝」。上から見ると、このようになっています。



⑩水の音が公園内に響き渡り、清々しさを感じさせます。



⑪滝の上部には、自然石をたくさん配置している道があり、岩山を歩いているような気持ちになります。



⑫子供たちのために、色鮮やかで大きな木製コンビネーション遊具も配置されています。